

大 学 名 開 講 期 間 履 修 条 件	神戸市看護大学		担 当 教 員 氏 名	神谷 訓康 准教授
	前期（6 月～7 月）		開 講 曜 日 ・ 時 間	木曜 2 限（10:40 ～12:10）
			募 集 人 員	10 名以内
教 室	未定		連 絡 先	gakumu@kobe-ccn.ac.jp
授 業 形 態	対面			
授 業 方 法	講義			
学 習 目 標	①保健統計学の重要な健康指標について理解し、説明できる ②代表的な統計手法について理解し、データを基に演算・解釈できる			
授 業 概 要	保健統計学は集団における健康事象を数値で表現し分析するための手法であり、適切な方法を通して集団における規則性を見いだすことを目標とする。データを収集し分析を行う際には統計学的判断が重要であり、健康教育において疾病のリスクを数値で説明する際にも、より深い統計学の知識が必要であることを学ぶ。			
授業時間学習以外の学習（準備学習含む）	講義前には、事前に配布する資料に目を通し、概要を理解しておくこと。 講義後は、教科書に示された練習問題に取り組むこと。			
授 業 計 画	1	統計学の必要性、検定の論理（神谷）		
	2	検定統計量、第 1 種の過誤と第 2 種の過誤（神谷）		
	3	平均・分散・標準偏差・自由度（神谷）		
	4	正規分布と統計理論の初歩、t 分布と母平均 μ の 95%信頼区間（神谷）		
	5	関連 2 群の t 検定、独立 2 群の t 検定、P 値（神谷）		
	6	一元配置分散分析、多重比較（神谷）		
	7	相関分析、単回帰分析（神谷）		
評 価 方 法	各授業ごとの課題 20%、期末試験 80%			
教 科 書	中原治：基本から学ぶ統計学，羊土社			
参 考 図 書	講義時に示す			
特 記 事 項	保健統計学は公衆衛生活動で重要な科目です。聞きなれない用語などの影響で、難しく感じることもあると思いますが、繰り返し学習することで徐々に理解が進んでいきます。講義を聴くだけでなく、丁寧な予習復習も行って、役に立つ知識を身に付けてください。 〈オフィスアワー〉事前にメールでアポを取ってください。			